

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	33	※18年4月1日から区画整理課に組織改正	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	瑞江駅北部土地区画整理事業			
所属名	土木部 区画整理第一課 換地設計係	電話番号	3652-1151 (代表)	

事業の目的及び概要

都営地下鉄10号線瑞江駅北部の土地の有効利用を進め、江戸川区東南部中心地区として、秩序ある発展を実現させるため、総合的な都市基盤の整備を進め、災害に強いまちづくりを行う必要があります。移転の事務及びそれに伴う宅地造成、街路整備工事を進めています。また、移転及び工事説明会や相談会、住まいづくりのワークショップ等を行い、区画整理事業への理解の促進を図っています。

事業の開始年度 平成3年度

現在の課題

- 過小宅地の解消：50㎡未満の敷地が多く、建て詰まり感があったが、区画整理事業を契機にまちづくり宅地資金貸付制度の活用、土地の集約により建物の共同化を図りながら宅地拡大をしてきました。
- 事業への理解：全体説明会、個別相談会や住まいづくりワークショップ等を行い、区画整理事業への理解や、より良い住環境を実現させています。

事業の対象者と動向 区民全体 対象年齢あり () 対象条件 (区画整理事業範囲内の物件)

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
140棟	113棟	125棟	72棟	53棟	→ 事業計画通り

備考：平成7年度より施行区画を定めて、順次、整備を進めています。18年度整備で移転は完了予定。

活動指標

	活動指標名	活動指標の説明
①	道路整備延長 (道路幅員4.5m以上) (全8,817m)	道路・水道・ガスなどの基盤整備の進捗状況を現わします。
②	移転棟数 (全1,090棟)	権利者の理解と協力のもと事業推進の大きな要素となります。

活動実績

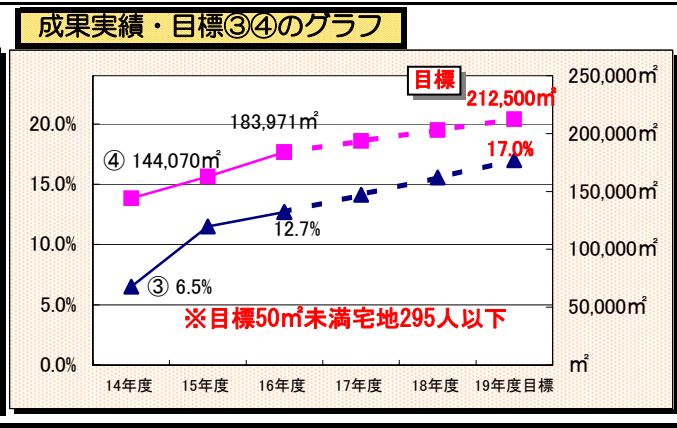
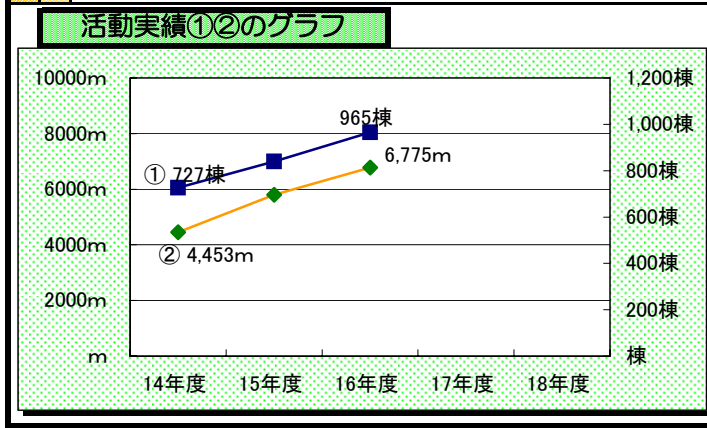
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
①	4,453m	5,798m	6,775m	m	m
②	727棟	840棟	965棟	棟	棟

成果指標

	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	50㎡未満過小宅地の解消率 (全355件)	土地の買い増しなどにより居住環境の向上、住宅事情の改善、違反建築物の防止
④	整備面積 [全212,500㎡]	安全安心のまちづくり、防災性の向上、都市空間の創出

成果実績・目標

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	6.5%	11.5%	12.7%	0.0%	0.0%	17.0%	宅地規模 (平成13年) 50㎡未満355人, 37.7%, 50~70㎡ 233人, 24.7%, 70㎡以上 354人, 37.6%
④	144,070㎡	162,791㎡	183,971㎡	㎡	㎡	212,500㎡	



事業名 瑞江駅北部土地区画整理事業

実施の根拠となる法令等 土地区画整理法

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

委託等の内容（建築物等の調査、補償額の算定、測量作業）

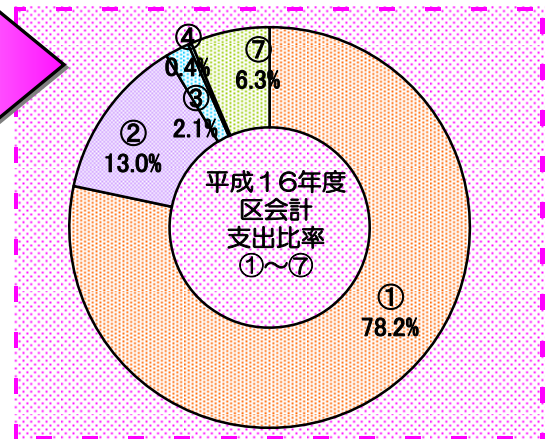
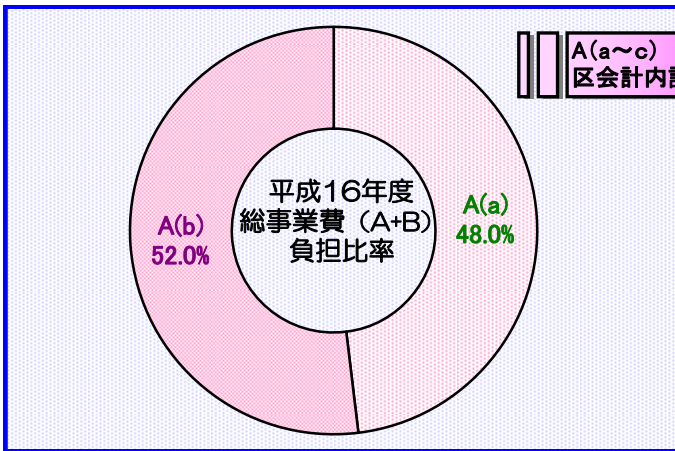
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	優良建築物等整備事業	16人の権利者による共同建替えて住環境の向上を図っています。
②	住まいづくりワークショップ	建築ルールの確認と、住民同士のコミュニケーションの場を設けています。 (平成12年より34回開催)

その他背景・他の自治体の状況等

区画整理すべき区域として、昭和40年と44年にかけて、市街化区域の約半分に当たる2,048haを都市計画決定しました。今日までに約1,000haが完成し、現在も区施行により約60ha、組合・東京都施行で約215haの事業が進められています。

16年度総事業費 (A+B) 3,013,300千円



A 区の会計内訳 (a~c) 3,013,300千円

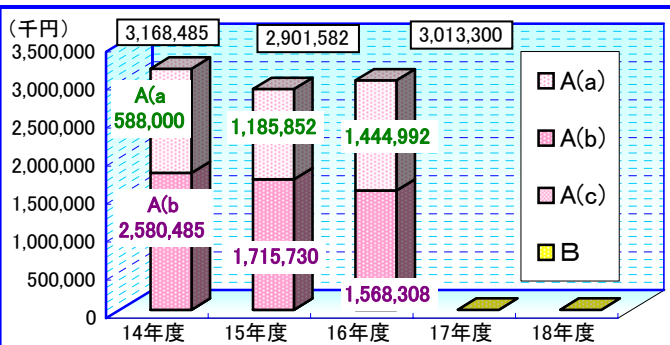
A(a) 国都支出金 (歳入)	1,444,992千円	都市再生区画整理事業、土地区画整理事業に対する補助
A(b) 区負担分	1,568,308千円	区一般会計
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円	

支出内訳 (①~⑦)

① 移転補償費	2,357,693千円	移転棟数1,090棟
② 造成工事費	392,511千円	整備面積、212,500㎡
③ 調査設計費	62,647千円	移転建物調査等委託、測量委託
④ 事務費	11,435千円	消耗品、仮住宅、事務所維持管理費
⑤		
⑥		
⑦ 区職員の人件費	189,014千円	

B 利用者が事業者等へ直接支払う額 0千円

総事業費の経年変化 (14年度~)



ア 常勤職員	23.0人
イ 非常勤職員	0.0人
ウ 臨時職員	0.0人

16年度の
 整備面積1㎡あたりの経費 **142,271円**
 整備面積1㎡あたりの区負担分 **74,047円**

経費の説明

総事業費A(a+b) / 整備面積 (21,180㎡)
 区負担事業費A(b) / 整備面積 (21,180㎡)
 ※整備面積=16年度(累計)-15年度(累計)

国・都支出金と区負担分bは
 約5:5です

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	33	事業名	瑞江駅北部土地区画整理事業
------	----	-----	---------------

所属名	土木部 区画整理第一課 換地設計係
-----	-------------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	○					
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。			○			
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。			○			
8	民間委託の可能性はある。				○		
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

所 管 部 長 の 意 見

本事業は、都営地下鉄10号線瑞江駅を核とした区画整理事業であり、既に都施工の2地区が完了し、瑞江駅西部地区でも事業中である。計画的な道路整備や建物の更新を図っており、防災や住環境向上などまちづくり効果が得られている。16年度末進捗率は89%であり早期完了に向け事業の継続を行う。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	33	事業名	瑞江駅北部土地区画整理事業
-------------	----	------------	---------------

所属名	土木部 区画整理第一課 換地設計係
------------	-------------------

外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。		○				
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	○					
4	事業の成果を上げている。	○					
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。			○			
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。				○		
8	民間委託の可能性はある。				○		
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

外部評価委員会の意見

- ・事業の進捗状況も順調のようである。
- ・瑞江駅の周辺を歩くと、以前に比べ町並みが随分きれいになったと感じる。事業の効果があらわれていると評価している。